

各位

上場会社名 株式会社 京写
 代表者 代表取締役社長 児嶋 雄二
 (コード番号 6837)
 問合せ先責任者 取締役経営企画・管理統轄 桃井 茂
 (TEL 075-631-3292)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年6月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,250	340	410	220	15.05
今回発表予想(B)	8,116	201	390	309	21.13
増減額(B-A)	△133	△138	△19	89	——
増減率(%)	△1.6	△40.8	△4.8	40.5	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	8,921	529	571	294	20.17

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,200	830	1,000	540	36.93
今回発表予想(B)	16,500	500	770	480	32.83
増減額(B-A)	△700	△330	△230	△60	——
増減率(%)	△4.1	△39.8	△23.0	△11.1	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	17,304	746	891	459	31.45

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,300	50	190	100	6.84
今回発表予想(B)	3,093	△20	227	207	14.18
増減額(B-A)	△206	△70	37	107	——
増減率(%)	△6.3	——	19.6	107.3	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	3,526	127	236	128	8.81

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,800	160	450	240	16.41
今回発表予想(B)	6,000	10	370	280	19.15
増減額(B-A)	△800	△150	△80	40	——
増減率(%)	△11.8	△93.8	△17.8	16.7	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	6,922	151	433	237	16.25

修正の理由

1 第2四半期累計期間
(連結)

当第2四半期連結累計期間につきましては、自動車関連及び家電製品分野を中心に海外での販売が好調に推移いたしました反面、国内におきましては、家電製品等を中心に販売が低調に推移したことにより、売上高は前回予想を133百万円下回る、8,116百万円となる見通しであります。

営業利益は、上記売上高の減少及びコスト面において主に原材料価格の高騰により、前回予想を138百万円下回る201百万円となる見通しであります。

経常利益は、上記の営業利益の状況と為替差益による営業外収益の増加等を含めまして、前回予想を19百万円下回る390百万円となる見通しであります。

また四半期純利益につきましては、外国税額控除額の増加による法人税等の減少が見込まれますため、前回予想を89百万円上回る309百万円となる見通しであります。

(個別)

当第2四半期累計期間につきましては、映像関連や家電製品等顧客の海外移管等により販売が低調に推移し、売上高は前回予想を206百万円下回る3,093百万円となる見通しであります。
営業利益は、上記連結業績修正理由に記載した同様の理由により、前回予想を70百万円下回る20百万円の損失となる見通しであります。
経常利益は、上記の営業利益の状況と営業外収益において主に子会社からの受取配当金の増加等があり、前回予想を37百万円上回る227百万円、四半期純利益は、上記連結業績修正理由に記載した同様の理由により、前回予想を107百万円上回る207百万円となる見通しであります。

2.通期

(連結・個別)

下半期につきましては、一層の景気後退による販売への影響が国内外で強まる見込みであり、またコスト面においては材料価格が依然高止まりのまま推移することが予想されます。
これらの状況及び上記当第2四半期累計期間の業績予想の修正を反映し、通期の業績を修正しております。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績は、今後の様々な要因によって上記予想と異なる場合があります。

以 上